教育目標「心豊かで、たくましく生きる児童の育成」 ～よく学ぶ子　思いやりのある子　たくましい子～

令和6年度　渋川小学校　学校だより　　令和7年3月21日

かしの木　第20号

修了、卒業…　希望の春

２０４日間の令和６年度。　本日、最終日を迎えました。
先日、３月１９日（水）には、１～５年生が修了式を行いました。
この１年間の成長の姿が感じられる修了式でした。
そして、本日、６年生の卒業式です。

初々しい入学時の写真です。

3年生、消防署見学の時の写真です。

1年生。子ども達はピーターパンでした。

6年生4月。まだあどけなさが残っています。

2年生。生活科の学習です。

4年生。山ノ入ダムで記念撮影!

6年生3月18日。卒業直前の子ども達。仲良く、優しく、笑顔の素敵な子ども達です。

立派に成長しました。中学校での頑張りを応援しています。

〈渋川コミュニティ・スクール〉 －「市の魅力について情報発信」－

もしかするとご覧になった方もいらっしゃるかもしれません。

６年生が総合的な学習で学んできた「市の魅力」について作ったパンフレットを二本松市の観光案内所と「道の駅あだち」に期間限定で置いていただけることになりました。（現在終了）

自分たちがつくったパンフレットを果たして地域の方、二本松に来て下さった方が見てくれるのだろうか…？　そんな不安もあったようですが、多くの方からコメントを寄せていただき、子ども達は大きな喜びを感じていました。

○　項目ごとにいろいろな情報がたくさんあってこの１冊で全て分かる感じがしまいた。とても良かったです。
○　二本松に住んでいます。地元のお菓子を紹介してくれてありがとう！
今回だけでなく、定期的にいろんなお店を紹介してくれたらうれしいです。
○　岳温泉の情報満載でとてもよく分かりました。地図もあったので、いろんな所にドライブしながら行きたいと思います。
○　紹介されたお菓子は全部食べてみたいと思いました。定期的に発行していったら楽しそうだなぁと思います。

パンフレットを通して多くの人と交流できた子ども達。

学校としても、こうした機会を今後も引き続き大事にしていくこと、そして、持続しながら活動を進めていくことを大事にしていきたいです。

校長の独り言

「生活はすべて科学とつながっている」。６年生、最後の理科の授業での美由紀先生の一言である。子ども達はこの４年間、理科を学ぶ楽しさや、理科を学ぶ意義について学習してきた。「理科って面白い！」。そんな満足感が子ども達の表情からもうかがえた。授業後、子ども達から、美由紀先生、そして、２年間お世話になった佑斗先生（院生）へ、サプライズで感謝の言葉が述べられた。学んだ喜びや教えてもらった喜び。子ども達の素直な言葉で心を込めて表現されている。（危うく例の涙腺が…）幸せな空気に包まれたまま、理科室をそっと出た。廊下を歩き始めると後ろから子ども達の声が聞こえてくる。「一応言う？」　ふと振り向くと「校長先生、社会ありがとうございました」。それを聞いて、後ろから来た子達も次々と「あっ、社会、ありがとうございました」「あっ、ありがとうございますぅ」…。思いがけず「ありがとう」なんて声をかけられたこともあり、また、理科の素敵な余韻に浸っていたこともあり、なんだかじ～んと胸が熱くなっ（てしまっ）た。

（ん？　でもなぜか妙な**ひっかかり**を感じる。なんだろうこの変な感じ…。　「一応(い･ち･お･う)」？）

確かに６年生の歴史の授業に少し携わらせてもらった。飛び込みで授業をさせてもらったから「校長先生の授業は今日が最後です」みたいな終わり方もなかった。しかも、学習したのは「江戸時代」。『義理と人情』のところだった。「義理人情」が人気になって、江戸の伝統・文化が華やかに形成されて、活気ある生き生きとした時代を創り上げた。な～んてことを一緒に学習した。だから子ども達は学んだ「義理人情」を忠実に実践しようとしただろうか…。（「一応お礼を言っておく？」「校長先生に社会を習ったしね」「義理人情って生き生きとした文化を創るんだよね」「そうそう、これで渋川小も活気づいていくんじゃない？」…　※例のごとく、これは私の勝手な妄想である）

子ども達の義理深く人情厚い優しい人柄に触れながらも、決して“「義理人情」について校長先生から習ったよね”“時代を創るんだよね”などと口外しないことを願うばかりである